

福井 資産譲渡交渉は、県が京福電鉄の福井県内路線の土地や車両などを20億円で取得することで交渉が決着、第三セクターによる運転再開にメドが立った。時価評価での買い取りを求める京福電鉄と県の間で考え方の隔たりがあったが、三セク設立を受けて京福が譲歩した格好だ。

中古車販売店で環境ISO取得

兵庫 クインランドは中古車販売店「O-RUSH (オーラッシュ)」神戸店で環境管理の国際規格「ISO 14001」の認証を取得した。環境に配慮した店舗運営を顧客にアピールする。中古車販売店では廃油、廃タイヤ排出などの環境管理が難しいが、従業員教育などで環境管理を徹底し、認証基準をクリアした。

光レーザーと無線LANで配信

福岡 福岡市や日韓の情報技術(IT)企業が中心となって、同市で光レーザーと無線構内情報通信網(LAN)を組み合わせてインターネットで動画配信するサービスの試験運用が始まった。地域情報を中心に来年3月まで無料で配信し、同4月の事業化を予定している。

近畿特許流通フェア記念フォーラム

動き出す特許ビジネス

10月29日
大阪市

日本経済新聞社は特許庁、近畿経済産業局と特許ビジネスをテーマにフォーラムを開催します。

◇日時 10月28日(火)午後1～4時半

◇会場 マイドームおおさか(大阪市中央区)

◇内容 公關技術診断・特許ビジネスマッチングフォーラム・IPライセンスショー

「必要ない電波を遮らない熱線フィルム」イー・エム・テック

「シリコン窒化膜形成方法」京都工芸繊維大学

「はく質の結合検出方法」京都大学

「有機系廃棄物の炭化処理方法及び装置」伊丹技研(水溶性金属加工切削液)

タイヨウテック、アドバイザ、松田治和(大阪府立産業技術総合研究所長)、柳野隆生(柳野国際特許事務所長)、奥蔵英雄(エヌ・アイ・エフベンチャー関西支社副社長ほか)

◇申し込み方法 住所氏名、勤務先、電話番号を明記し、FAX(06・6946・8470)で日本経済新聞社大阪本社企画事業部まで。

http://www.nikkei.co.jp/events/lokyo/

近畿特許流通フェアは10月29、30日にマイドームおおさかで開催。産学官技術移転フェアも同時開催される。

うろこからコラーゲン

鳥取県とカンタ技工 低コスト抽出技術

鳥取県産業技術センターと機械設計・製作のカンタ技工(鳥取県米子市、

中山清社長)は、たんばく質の一種、コラーゲンを魚のうろこから低コストで抽出する技術を開発した。カンタ技工は十一月、鳥取県境港市に年産能力二十四トンのプラントを稼働させる。人体に吸収されやすいコラーゲンとして化粧品メーカーなどに売り込む。

「今後、半年以内に購入または利用予定のもの」は旅行が最も多く二八・五%。前回に比べて二・六%増え、米同時テロなどで落ち込んだ旅行需要が回復基調にあるとみられる。

ただ、消費支出を抑える理由に「世帯収入の減少」を挙げた人が四〇・〇%と最も多く、前回の三八・三%から微増。不況の影響で依然として家計が苦しいことを映しているようだ。

旅行が回復基調

「支出増」2.5%上昇

以上の対し中二で実から回最近支と答えで前回六・五が増え人は一八%



トで抽出する技術を開発した。カンタ技工は十一月、鳥取県境港市に年産能力二十四トンのプラントを稼働させる。人体に吸収されやすいコラーゲンとして化粧品メーカーなどに売り込む。

コラーゲンは細胞の再生、活性化に必要な栄養で通信販売してきたが、販売量はわずかだった。鳥取県などは加工法の工夫で九〇%のコラーゲンを抽出できるようにし、粉末状に加工した。抽出率の

向上と粉末にしたことで生産・物流コストが半減した。コラーゲンは豚や鳥を原料にしたものが主流として出回り依然安いが、うろこ原料の方が吸収されやすいという点の特徴に市場開拓していく。カンタ技工は初年度十二ト(約八千万円)を販売する目標を立てている。販売は専門商社の夢みなと貿易(境港市、小島勉社長)が担当する。

生命保険を全20店で窓販
鳥取債金 来月から鳥取県東部を地盤とす